

うつのみやまちづくり市民会議 議事録

会議の名称	市民会議（第7回市民福祉分科会）
開催日時	平成18年4月24日（月）午後6時30分から8時40分
開催場所	宇都宮市役所 会議室
出席者	（市民委員）伊達悦子会長，梅林孟副会長，新由美子委員，上野茂委員，江連京子委員，大堀導子委員，千保喜久夫委員，矢田部一郎委員 （市事務局）
会議内容	・全体会議の紹介 ・施策目標の検討
会議資料	1. 第7回資料 2. 第2回全体会議資料
発言者	発言内容
進行	それではこれから第7回分科会を行います。 （出欠確認） まず前回の全体会での議論について情報共有したいと思います。
市民委員	（全体会議資料，議事録等をもとに説明） 他の分科会との調整事項については，各々の分科会で視点を変えて検討を進めてよいということになりました。
進行	表現等で何か修正すべき箇所があれば，発表していただきたいと思います。
市民委員	私は仕事と子育ての両立に関して，次世代育成支援計画の成果が出ているのかについて，問題意識があります。
市民委員	（表現の修正について，別紙に修正後の資料を添付）
進行	重点課題として今は6つの柱があがっています。柱として何かプラスするべきものはありますか。
事務局	今年度の検討では，こうした重点課題であげられた分野の議論が中心となります。こうした6つだけでも検討には多くの時間を要しますので，どうしても付け加えたいもの限定して付け加えることにしたほうがよいと思います。
市民委員	福祉の施策では国が推進しているものも多く，市の施策も財源の手当てが

	<p>国からなされなければ、進みにくいのではないのでしょうか。また、障害者に対する経済的支援など、国の施策の上乗せを市は検討する必要があるのではないかと思います。</p>
市民委員	<p>確かに経済的な支援は重要ですが、これまでの分科会ではほとんど議論がなかった点です。特に付け加える必要はあるのでしょうか。</p>
市民委員	<p>財源については、新たな柱として設けるのではなく、個々の施策のなかで確保されるように市に提案するという点でよいと思います。</p>
市民委員	<p>これまでの検討では、障害者福祉については心のバリアの克服が最も困難であり、かつ重要という話だったかと思います。</p>
市民委員	<p>障害者福祉の点では、障害者と他者が人格関係をつくる機会を増やすことが最も重要な課題だと思います。人格関係をつくるうえでは、心のバリアの問題が重要です。</p>
進行	<p>続いて今年度の進め方について議論を進めたいと思います。</p>
事務局	<p>(資料説明)</p>
市民委員	<p>利害関係者という言葉よりも関係者にしたほうがしっくりきやすいと思います。</p>
事務局	<p>本日は少し時間が足りませんので、次回引き続き重点課題ごとの目標について議論して頂きたいと思います。作成例を作ってまいりますので、それを参考に、各十点課題ごとに</p> <ol style="list-style-type: none"> ①関係者は誰か ②どのような状態になってほしいのか ③行政が提供すべきサービスは何か <p>の3点を考えておいていただきたいと思います。</p>
進行	<p>次回は5月24日(水)18時30分から行いたいと思います。 次々回は6月21日(水)の予定にしましょう。 それでは以上で第7回の市民会議市民福祉分科会を終了します。 ありがとうございました。</p>

以上